１年生学習資料（課題）

国語	休業期間中に本を読み、ブックトーク用ＰＯＰを作成してください。用紙は自分で用意してください。Ｂ５～Ａ４程度で色・素材は自由です。新学期開始時にブックトークを実施するので、その際に提示してもらいます。 ※必要な人はブックトーク用の原稿（４００～６００字程度）を用意すること。 ※対象となるものは散文（小説や評論、随筆など）、韻文（詩や短歌、俳句など）、漫画です。ただし、商業出版されていないもの（投稿サイト『ＰＩＸＩＶ』）や『小説家になろう』などのアマチュアによる投稿作品）は避けてください。
社会	教科書のワーク⑨（Ｐ８１）　教科書のワーク⑪（Ｐ１２１）　教科書のワーク⑫（Ｐ１３４～１３５）
数学	教科書Ｐ１３０～１３８　練習問題ノートをやること。※授業用のノートを提出している生徒は、他のノートにやること。
理科	1年生　化学基礎課題 ① トライイットというサイトの理科＞高校化学基礎＞物質の変化＞物質量 にある「物質量(mol)」 、「物質量の計算」、「モル質量」の計３本の動画を視聴し、動画中の板書内容を漏れなくすべてノートやルーズリーフに丁寧な字で書き写しなさい。動画については以下に掲載したＵＲＬを参照すること。 物質量（mol） https://www.try-it.jp/chapters-9049/sections-9066/lessons-9067/ 物質量の計算 https://www.try-it.jp/chapters-9049/sections-9066/lessons-9071/ モル質量 https://www.try-it.jp/chapters-9049/sections-9066/lessons-9074/ ② ①の動画を参考に教科書の p103 問４、p104 問５をノートやルーズリーフに解答しなさい。求める際に使用する式も必ず記載すること。 ※ ネット環境の都合等でどうしても動画を視聴できない場合は、教科書 p98 ～ p104 をノートやルーズリーフに丁寧に書き写す作業で 課題① を代替してください。
英語	☆以下の課題１～５をノートかルーズリーフに行いなさい。 課題１　教科書Ｐ９６Lesson8 Part4 の本文を書きなさい。 課題２　Lesson8 Part4 の新出単語（７個）の品詞と意味を辞書で調べなさい。 課題３　Lesson8 Part4 の本文全文を日本語になおしなさい。 Ｐ９７Grammar に関して 関係副詞 why（～する理由），how（～するやり方） 例文：　The reason why it was chosen was because they thought it was popular enough to attract a large audience.（その曲が選ばれた理由は，多くの聴衆を引きつけられるくらい人気がある曲だと団員たちが考えたからでした。） 課題４　Grammar の b. c. の英文を写し、日本語になおしなさい。 課題５　Practice（並べ替え問題）
体育	腕立て伏せ、腹筋、背筋を各３０回行う（続けて３０回行わなくてもいい）

<table>
<tr><td>電子機械</td><td>★【写す】という作業は、
　一般的には、内容の理解を深める。
　ということですが、実は、その根底の理由を理解し、意識することで、様々な大切なことが身についてきます。
①　きれいに書くためには、平常心でなければならない。
　字体が上手いことと、きれいは違います。
　書道家ではない。
　姿勢をまっすぐに正し、一つ一つ字をただただ無心に、
　心を乱すことなく、落ち着いて、ていねいに書く。
　一つの線の、始まりと終わりを乱れることなく、書く。
②　図を描くときは、説明する語句、線、絵の全体のバランス・調和のセンスに対して、注意力を働かせる。
　ただの教科書の絵、専門用語、→　と見ているだけではいけない。正直、写すだけで理解し覚えられるものではない。
　何か表現し、伝えるときの、デザイン的なバランスセンス、表現センスに意識を持ってほしい。
　何気なく、写すだけの図も、その配置バランス、図の大きさなど、その美しさに気づくはずである。
　美しさを感じるセンスは、君たちの人生の調味料になる。
以上のことから【写す】だけは、されど【写す】ことになる。
提出期限は、学校が始まってから、あらためて連絡します。４月の始業式以降を予定しています。
自習課題の内容
実習１の教科書をレポート用紙に写す。
Ｐ９　図４　ノギスの各部の名称
Ｐ１３　図９　ノギスの測定例
Ｐ１４　図１０　外側マイクロメータの各部の名称
Ｐ１５　図１２　外側マイクロメータの目盛
Ｐ１５　図１３　目盛の読み方
Ｐ１８　図１８　ダイヤルゲージの各部の名称
Ｐ２０　図２１　ダイヤルゲージの測定例
Ｐ２０　図２２　ハイトゲージの各部の名称
★　図を写すので、どうしても自信のない生徒もいるでしょう。
　その場合は倍率を上げてコピーして、それを映し書きしてよい。
　写し書きは、決して悪くはない。
　【写す】ことは【まねる】ことである。
　謙虚に、平常心で【まねる】ことを身につけた者は、非常に素晴らしい人物である。</td></tr>
<tr><td>電気</td><td>別紙プリント参照（電気科の生徒のみプリントを入れています）</td></tr>
<tr><td>情報技術</td><td>電気基礎の教科書
第１章　直流回路　　第２章　電流と磁気　　第３章　静電気　各章の章末問題を解き解答をしておくこと。ただし、計算については公式、代入式、途中計算、答え、単位を必ず書くこと。</td></tr>
<tr><td>環境化学</td><td>工業化学
※丙種危険物テキスト　第１回模擬問題ｐ９５～９９　について
解説を調べながらで良いのでノートまたはレポート用紙に解答し、自己採点して提出。
自己採点で間違えた問題は、解説をしっかり読み直して理解をすること。
理解出来なかった問いは、赤で「※」印を付けておくこと。
※危険物のテキストをなくした生徒は、教科書ｐ８８～９９の本文と例題を３回ノートまたはレポート用紙に書いて提出すること。表、図、グラフは書かなくてよいが、化学反応式は書くこと。
情報技術基礎
※工業化学１の教科書の表紙をめくったところ(見返し①②)にある元素の周期表をノートまたはレポート用紙に書き写して提出すること。</td></tr>
</table>